

令和7年度 羽島特別支援学校自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年度 重点目標及び自己評価（小学部）

学校教育目標	<p>児童生徒の人権を尊重し、それぞれの教育的ニーズに応じた教育の推進により、一人一人の可能性を最大限に伸ばして、夢や希望の実現、自立と社会参加のために次の3つの力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命や体を大切に守り、健康に生活できる力を育成する ・向上心と自信をもち、物事に主体的に取り組む力を育成する ・豊かな人間関係を築き、心豊かに生活できる力を育成する 	
評価する領域・分野	<p>「学校教育全般」「教育活動・学習指導」「進路指導」「生徒指導（教育相談）」「特別活動」「保健管理」「安全管理」「組織運営」「研修（資質向上の取組）」「教育目標・学校管理」「保護者、地域との連携」「情報提供」「教育環境整備」</p>	
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が健康・安全に学校生活を送るために、教師間、家庭や保健室が密に連携をとり、情報を共有する。 ・児童の発達段階や興味・関心に応じ、主体的に楽しく学ぶための授業改善・教材研究を実施する。 ・児童が挨拶や自分の思いを伝え、自分の役割を果たすことができるような場や機会を設定する。 	
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への連絡・説明、授業内容や個に応じた支援、体験的な活動の実施について高評価を得ている。普段から、丁寧に児童や保護者に接し、学習内容を説明していることが結果に結びついたと考えられる。 ・地域と連携した特色のある教育活動や交流、進路や就労支援に関することについては十分ではないと考えられる。適切な助言・提案ができるよう、職員が知識を得るとともに、保護者に情報提供していくことや、地域との連携した教育活動を進めるとともに、常に情報を発信していくことが必要である。 	
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアのある児童について、養護教諭、看護師、担任との連携を密にするとともに、児童の様子や対応について共有した。また、熱中症対策として運動会を体育館で行った。 ・部集会で各学年の学習内容（ダンス等）をお楽しみで披露したり、他学年との学習交流（夏祭りをしよう）で、互いに学びあったりするなどの機会を設けた。 ・部集会や委員会活動、各学級での係活動において、自分の役割を理解するとともに、その活動を果たす機会を設けた。 	
成果・課題		総合評価
<p>○児童の健康面や行動面に関する情報を共有し、保護者や保健室などと連携を図ることで、安全・安心に配慮した対応を行うことができた。</p> <p>○学年間の学習交流が活発になったことで、他学年の取り組みから多くの学びを得るとともに、その良い実践を自学年の授業や活動に取り入れることができた。</p> <p>○委員会活動や係の仕事において、自分の役割をやり遂げようとする姿を引き出すことができた。</p> <p>▲学年、グループを超えての職員の連携体制</p> <p>▲着替えやトイレ等での同性介助や呼称等、人権意識の向上</p>		A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の共有や職員体制等、各学年を超えてお互いが気持ちよく協力できるような職員の連携体制を構築する。 ・学習交流や他の教員の授業を見る機会（授業参観）を積極的に設ける。 ・地域資源をより活発に活用していく。 ・人権を意識した支援により取り組む。 	

令和7年度 重点目標及び自己評価（中学部）

学校教育目標	<p>児童生徒の人権を尊重し、それぞれの教育的ニーズに応じた教育の推進により、一人一人の可能性を最大限に伸ばして、夢や希望の実現、自立と社会参加のために次の3つの力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命や体を大切に守り、健康に生活できる力を育成する ・向上心と自信をもち、物事に主体的に取り組む力を育成する ・豊かな人間関係を築き、心豊かに生活できる力を育成する
評価する領域・分野	<p>「学校教育全般」「教育活動・学習指導」「進路指導」「生徒指導（教育相談）」 「特別活動」「保健管理」「安全管理」「組織運営」「研修（資質向上の取組）」 「教育目標・学校評価」「保護者、地域との連携」「情報提供」「教育環境整備」</p>
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が健康で安全な生活を送るために教職員の連携・協力体制の向上を図り、チームによる教育活動を推進する。 ・生徒の学ぶ意欲を高め、主体的に学ぶ授業づくりを行う。 ・学年段階等を踏まえた進路学習の充実を図り、学習状況を発信する。
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から保護者と連携を大切にし、生徒の様子や支援に関して懇談や連絡帳等で情報共有を行っていることが、高評価につながったと考えられる。 ・教職員間の協力体制、いじめの未然防止や早期発見、地域との連携に関しては、分からないも含めて評価が低かった。教育活動のPRも含め、今後も情報発信を行っていく必要がある。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・類型で支援方法を相談し、生徒の状況や体調に合わせて課題を設定し、教育活動を行った。 ・体験的な活動を多く取り入れ、実態によってグループ分けを変更しながら、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫した。 ・係活動や委員会活動、作業学習、進路に関わる学習を設定し、自分の役割に責任をもってやり遂げられるように支援を行った。
成果・課題	<p>総合評価</p> <p>○学年内で生徒の情報共有を適切に行い、指導・支援について共通理解のもとに、実際の指導を行うことができた。</p> <p>○校外学習等を効果的に活用したり、興味・関心を踏まえた授業内容を仕組んだりしたことで、生徒が意欲的に活動に参加する姿が見られた。</p> <p>○中学部段階としての自立と社会参加に向けての取組を支援することができた。</p> <p>▲自分の学級、学年だけでなく、気付いたときに誰もが適切な支援ができるよう、部全体で生徒を支援していくという意識の向上。</p> <p>▲実態差のある集団における授業づくり。</p> <p>▲進路学習の充実と、保護者が進路に見通しをもちやすいような進路情報の提供。</p> <p>A (B) C D</p>
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・部会等で生徒の情報共有をより積極的に行うとともに、教師間のコミュニケーションを大切にし、日頃から人権意識の向上に努める。 ・学習内容や校外学習等を例年通りで決めるのではなく、様々な実態の集団において、具体的な個々の目標達成のための支援を考えていく。 ・高等部卒業後を意識した進路学習の充実を図る。

令和7年度 重点目標及び自己評価（高等部）

学校教育目標	<p>児童生徒の人権を尊重し、それぞれの教育的ニーズに応じた教育の推進により、一人一人の可能性を最大限に伸ばして、夢や希望の実現、自立と社会参加のために次の3つの力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命や体を大切に守り、健康に生活できる力を育成する
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・向上心と自信をもち、物事に主体的に取り組む力を育成する ・豊かな人間関係を築き、心豊かに生活できる力を育成する
評価する領域・分野	「学校教育全般」「教育活動・学習指導」「進路指導」「生徒指導（教育相談）」「特別活動」「保健管理」「安全管理」「組織運営」「研修（資質向上の取組）」「教育目標・学校評価」「保護者、地域との連携」「情報提供」「教育環境整備」
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が卒業後の社会生活を考える機会を多くの場面で仕組み、生徒自らが生活態度の見直しができるように生徒会を中心に進める。 ・自立と社会参加に向けた生徒個人の課題を明確にし、作業学習を中心に授業改善を進めていく。 ・進路先決定までの過程を見直し、生徒が真に希望する進路決定ができるように組織として取り組む。
現状及びアンケートの結果分析等	<p>○高評価を得た内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の可能性を伸ばす指導・支援 ・生徒の様子の情報共有や参観の機会の確保 ・意欲的に取り組める体験的な授業の実施 <p>○課題とすべき内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止や早期発見、医療機関との連携
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実現に向けて、個々の生徒がめざすべき姿を共有、連携した指導を行った。 ・主体的に学ぶことができるよう、体験的、実践的な活動を取り入れた授業を行った。 ・学年や学部等で、情報共有や報告・連絡・相談を密に行うことで、組織的な生徒指導を行った。
成果・課題	総合評価
<p>○生徒会役員が中心となって、生徒同士の「あいさつ運動」や「ぼかぼか仲間見つけ」等の活動を行うことで、仲間の頑張りや良いところを知ることができた。</p> <p>○キャリア教育の視点をふまえ作業学習等に取り組むことで、生徒の伸ばすべき力を明確にして指導や支援をすることができた。</p> <p>○個々の生徒の実態に合った進路実現に向けて、日々卒業後の生活を意識した実践的な指導や支援ができた。</p> <p>○生徒の抱える様々な課題に対して。教員間で密に情報共有したりケース会議を開いたりして、課題解決に向けて進めることができた。</p> <p>▲社会自立に必要な力を伸ばすための指導の徹底。</p> <p>▲生徒への言葉遣いや接し方等、人権を意識した指導支援の徹底。</p>	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事、メモを取る事等について、その必要性を生徒に継続して指導支援を行う。 ・不登校生徒への継続的な支援、関係諸機関との連携をより深めるよう努める。 ・生徒に対する教師の言動を見直し、学年学部で徹底する。

学校関係者評価（令和8年2月25日実施）

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・性教育については、保護者では教えきれないことが多く、学校と保護者間で共有しながら、どの段階の児童生徒にも現在のように続けていってほしい。 ・異学年での交流学习を県でもすすめていることから、当校でも取り入れていってほしい。 ・生徒会活動での生徒が主体的に意見を交わし、その意見をまとめる経験を生かして、自立した社会生活へステップアップしていってほしい。 ・進路決定に向けて、これまで同様に本人の希望を大切にして進めていってほしい。
-----------	--